

堤 京都府 議会議員

じゅん太

活動報告 Vol.23

ごあいさつ

【大山崎版】

京都府下にも2度目の緊急事態宣言が発出されました。安心して生活できる環境が支えています。適切な医療や看護を提供できる環境が支えています。適切な医療や看護を提供できる環境が支えています。適切な医療や看護を提供できる環境が支えています。

今をよくする、未来へつなぐ。



新型コロナウイルス感染症対策に関する情報



医療現場への負荷をかけないため
ご協力をお願いします

発熱等の症状のある方

かかりつけ医がいる場合



まずは電話相談を



休日・夜間や
かかりつけ医がない場合

地域の診療所
(かかりつけ医)

可能

診療・検査を
電話で相談

不可

新型コロナ医療
相談センター

☎(075) 414-5487

(365日24時間対応)

診療所へ



受付

診療所で 受診・検査
季節系インフルエンザ検査
新型コロナ検査(唾液、鼻腔)

唾液
検査



鼻腔
検査



- ①検査可能な診療所
- ②接触者外来
- ③京都検査センター

なぜ医療機関や医療従事者を守ることが必要か？

私たちの命は高度な医療・看護で守られています。しかし、適切な医療・看護を受けられなければ、軽い病気でも命が脅かされる可能性が高くなります。

顕著な事例では、現代の看護を作ったナイチンゲールは42%と非常に高かったクリミア戦争での野戦病院の死亡率を、赴任から3カ月で5%、最終的に2.2%に下げることができました。

逆に言うと、適切な医療・看護が受けられなくなってしまうと、普段なら助かる死亡率が数%以下の軽度の病気・ケガでも、死亡率が数十%にまで大きく跳ね上がる可能性があります。



ナイチンゲール

2.2%
医療・看護

死亡率は医療
看護で変わる

42%

医療従事者が新型コロナに感染すると、療養しなければならぬので、私達が受けられる医療・看護の質や機会の低下に繋がります。

医療の質や機会の低下は新型コロナだけでなく、糖尿病や腎臓病などの既往症の治療や、事故・心臓発作などの緊急医療…など医療全般に及びます。



適切な医療を提供できない「医療崩壊」が起きると新型コロナだけでなく、今までは助かっていた病気やケガの死亡率が跳ね上がることに繋がります。

私達が安心して暮らすためにも、医療機関・医療従事者を守る必要があります。